（ 様式11の4 ）

在 宅 支 援 連 携 体 制 に 係 る 報 告 書

〔 別添1の「第14の2」の1の（2）に規定する在宅療養支援病院である場合に提出してください 〕

（ 令和3年7月1日現在 ）

保険医療機関名

医療機関コード

当該報告書は、在宅支援連携体制を構築する複数の保険医療機関の実績を取りまとめて報告するものです。
なお、連携体制を構築する複数の保険医療機関のうち、1つの保険医療機関が代表して報告することとして差し支えありません。

Ⅰ．直近1年間（令和2年7月1日～令和3年6月30日）に在宅療養を担当した患者について

1 平均診療期間	※在宅医療を開始してからの診療期間を患者ごとに算出〔在宅医療の開始月と終了月をそれぞれ算入のこと。（期間が月を跨っている場合は2ヶ月と計算。）〕し、連携体制を構築する保険医療機関グループにおける平均診療期間を月単位で計上してください。	（ ヶ月 ）
2 合計診療患者数		（ 人 ）
【再掲】死亡患者数	①+②+③+④	（ 人 ）
（1）うち医療機関以外での死亡者数	①+②	（ 人 ）
ア うち自宅での死亡者数	①	（ 人 ）
イ うち自宅以外での死亡者数	②	（ 人 ）
（2）うち医療機関での死亡者数	③+④	（ 人 ）
ア うち連携医療機関での死亡者数	③	（ 人 ）
イ うち連携医療機関以外での死亡者数	④	（ 人 ）

Ⅰの2（1）の「うち医療機関以外での死亡者数」を記入するに当たり、介護老人保健施設等の入所施設で死亡した患者については「イ うち自宅以外での死亡者数」欄へ計上してください。

Ⅰの2（2）の「連携医療機関」とは、事前に緊急時の受入を届出ている医療機関であり、在宅支援連携体制についても含むものです。

Ⅱ．直近1年間（令和2年7月1日～令和3年6月30日）の訪問診療等の実施回数について

訪問診療等の合計回数	（1）往診	【再掲】うち緊急の往診	（2）訪問診療	（3）訪問看護（緊急を含む）
①+②+③	①		②	③
（ 回 ）	（ 回 ）	（ 回 ）	（ 回 ）	（ 回 ）

Ⅱの「うち緊急の往診」については、緊急又は夜間・休日若しくは深夜に行った往診を計上してください。

Ⅲ．在宅支援連携体制について

1 在宅医療を担当する常勤の医師数	（ 人 ）
2 連携する保険医療機関数	（ 医療機関 ）
3 直近1年間のカンファレンスの開催状況	（ 回 ）

Ⅳ．在宅支援連携体制を構築している連携保険医療機関名 （上記Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの数値計上の基礎となった保険医療機関）